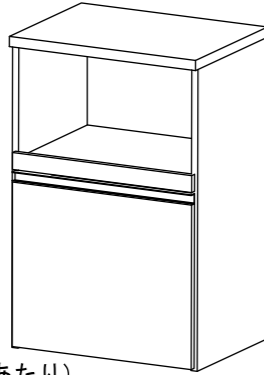


家電ラックロータイプ 取扱説明書

この度は当社製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。
本説明書をお読みいただき、末長くご愛用頂きますようお願い申し上げます。



耐荷重/人工大理石天板：約 30 kg
スライド棚：約 10 kg
容量/ペール容量：約 20ℓ(1個あたり)
コンセント2口(合計 1500W)

品質表示

品名：家電ラックロータイプ
品番：2分別 ホワイト/SD-520 ブラウン/SD-521
3分別 ホワイト/SD-522 ブラウン/SD-523
材質：本体 / プリント化粧繊維板
(クリーンイーゴス紙)
天板 / 人工大理石(ポリエステル系樹脂)
スライド棚 / ポリエステル化粧繊維板
ペール / ポリプロピレン
サイズ：2分別 約 幅58.7×奥行44.5×高さ92.1
(cm) 3分別 約 幅74.0×奥行44.5×高さ92.1
原産国：日本

人工大理石天板の取り扱いについて

人工大理石は熱に強い素材ですが、空焚きしたやかんや、高温で調理した鍋などを直接置きますと、まれに破損や変色をおこす事があります。通常は鍋敷きを使用いただく事をお勧めします。また、先の鋭利な物を落下させたり、こすったりすると傷が付きまますのでおやめください。
汚れは長時間放置せずに、すぐに拭き取ってください。

組立及び品質についてのお問い合わせは

受付時間 AM9:00~PM5:00
(土、日、祝日を除く)
TEL (0256) 35-7405
FAX (0256) 35-5844
リサーチ 0120(11)7405
川口工器株式会社サービス窓口

品質以外のお問い合わせは、
お買い上げの販売店へご連絡下さい。
〒955-0045新潟県三条市ノ門2丁目4番45号
川口工器株式会社
<http://www.kawako.net/>

警告

- 塗料・接着剤等の臭いがこもっている場合がございますので梱包を開けて作業をする際は、換気に注意し通気性を良くして行ってください。
- 水平な場所でご使用ください。傾いた場所やガタツキのある場所で使用していると強度が落ちたり壊れたりしてケガをする恐れがあります。
- 片寄った荷重をかけたり、耐荷重以上の物をのせないでください。破損する恐れがあります。
火気の近くでのご使用は危険ですのでおやめください。

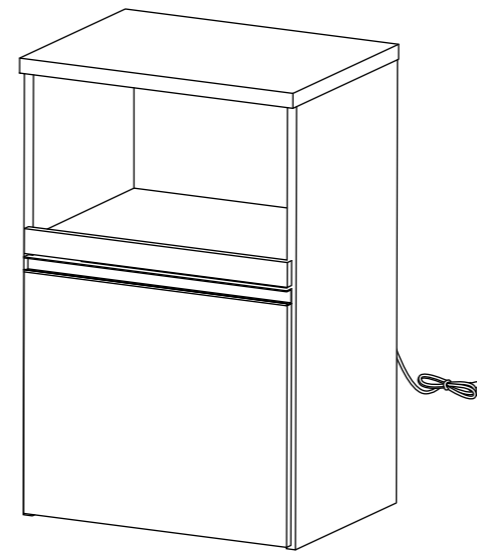
注意

- 最下段の引き出し裏にはキャスターがあります。キャスターの構造上、移動する時キャスターのあとがつく事があります。特にフローリング床の場合は床のキズにご注意ください。
- 本製品は収納を目的とした商品ですのでそれ以外の用途では使用はしないでください。
- 直射日光や熱、冷暖房機器の強風が直接当たらないようにしてください。側板が反ったり変色する原因となります。
- 移動する場合は必ず収納物を全て取り除いてから、2人以上で本体を持ち上げてください。
- 本品に乗って遊んだり、踏み台代わりに使用しないでください。倒れて怪我をする恐れがあります。お子様のいるご家庭では特に注意してください。
- スライド棚に貼ってあるシールははがさないでください。

お手入れ方法

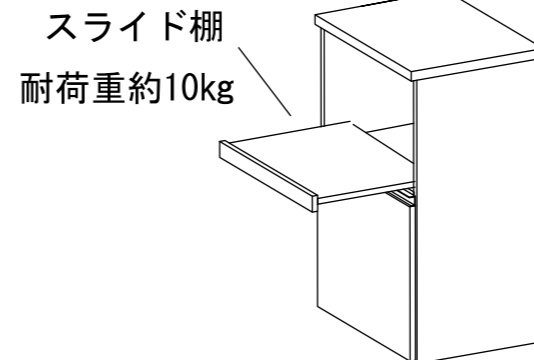
本体には「クリーンイーゴス紙」を用いています。汚れが付きにくく落ちやすい素材ですが、汚れた場合は、すぐに拭き取るようにしてください。放置され、時間が経った汚れは落ちにくく、拭き取れない場合もありますのでご注意ください。クレンザー・シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。塗装が剥がれてしまう恐れがあります。汚れを落とす際は、あらかじめ目立たない位置で試してから行ってください。たわしの使用は傷がついてしまいますので、おやめください。

天災等の不可抗力やお客様のお取り扱い上の不注意、不当な修理、改造による故障破損等は補償いたしません。



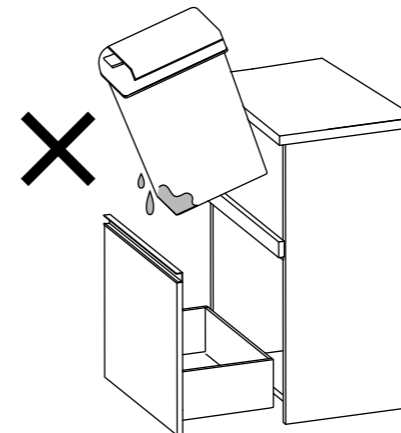
安全

スライド棚には耐荷重以上の荷重を掛けしないでください。手をつく、乗るなどは危険ですのでお止めください。



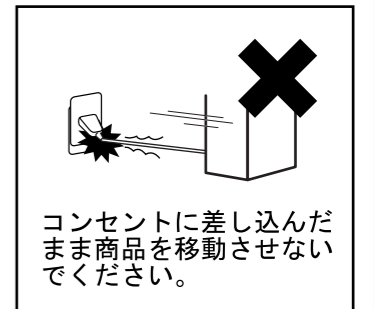
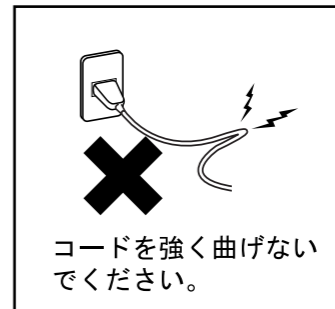
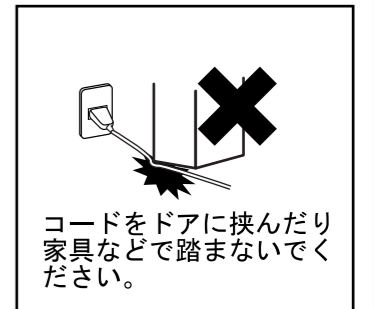
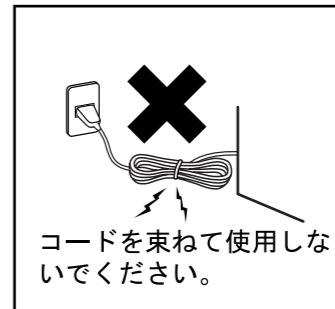
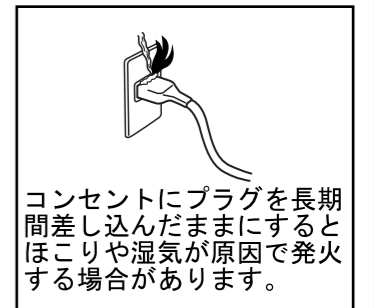
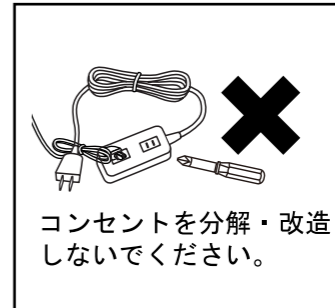
お手入れ

ペールを洗った後は必ず水気をふき取ってから収納してください。



禁止

コンセント付き商品は以下をご参照の上、安全に製品をお使いいただきますようお願いいたします。



- コンセント付き家具のコンセントをご使用になるときは、コンセント口に表示されている許容ワット数をしつかりご確認ください。許容量以上にご使用になられると発熱や火災の原因となり危険です。
- タコ足配線はしないでください。許容電力を超えると破損や火災の原因となりたいへん危険です。プラグも抜けやすくなり危険です。
- 使用時以外はプラグを抜いてください。
- お使いになる電気製品の説明書をよくお読みの上ご使用ください。